

6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全

評価者	環境生活部 武田 誉利子		
令和5年度 実行宣言			
<p>松阪市ゼロカーボンビジョンに示した目標達成に向け、公共施設の太陽光発電設備の導入、公共施設のLED化の取組を推進します。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>令和5年度において、PPA方式による公共施設への太陽光発電設備の導入を図るため準備を進めてきておりましたが、昨今の資機材価格や人件費の高騰、さらには急速な円安によってPPA環境は一変しており、PPA方式による公共施設への太陽光発電の導入事業は見合わせました。 LED化の推進については、35施設のLED化を完了し、切替が完了した施設では電気使用量の削減が図られておりLED化の効果が表れております。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>松阪市地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設へのLED照明の導入を進めます。特に消費電力の大きい小中学校の体育館のLED化を推進します。</p>			

評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志		
令和5年度 実行宣言			
<p>公共用水域の水質保全を図るため、生活排水施設の適切な維持管理を行うとともに、広報等を活用した生活排水に関する啓発を行い、生活排水処理施設の整備を進めていきます。 農業集落排水処理施設使用料、公共浄化槽使用料においては、公共下水道使用料同様に水道料金と合算した2か月に1回の請求方法に変更し、納付方法についてコンビニ納付、クレジット納付ができるよう、使用者の利便性の向上を図ります。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>「飯南かわら版」や「飯高とつきたより」などを通して生活排水に関する啓発を行いました。また、1年を通して施設の点検、清掃など維持管理に努め、令和5年度は26基の公共浄化槽を新規整備し、公共用水域の水質保全の向上を図りました。 農業集落排水処理施設使用料、公共浄化槽使用料の請求方法については、予定どおり10月から水道料金と合算する2か月に1回の請求方法に移行できました、これにより、コンビニ納付、クレジット納付もできるようになり、使用者への利便性の向上を図りました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>令和5年度に引き続き、公共用水域の水質保全を図るため、生活排水施設の適切な維持管理を行うとともに、広報等を活用した生活排水に関する啓発を行い、生活排水処理施設の整備を進めていきます。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	1人1日当たりエネルギー消費量(電気)を4年間、基準値以下に維持する。				目標種別	→
	評価者	環境生活部 武田 誉利子					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	
	実績	7.17kwh	7.43kwh	7.49kwh	7.00kwh	未公表	
	評価	—	E	E	S	—	
	今後の方針	2050年のゼロカーボンシティの実現をめざし、家庭の脱炭素化の取組への支援や、一人ひとりの身近な省エネ行動の重要性について周知啓発していきます。					
数値目標 ②	項目	生活排水処理施設整備率				目標種別	↑
	評価者	環境生活部 武田 誉利子 上下水道部 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	89.1 %	90.4 %	91.7 %	93.0 %	
	実績	88.7 %	91.1 %	91.7 %	91.8 %	92.4 %	
	評価	—	S	S	S	B	
	今後の方針	引き続き、浄化槽設置補助金制度等の活用により、生活排水処理施設の向上に努めていきます。					
関係所属							
環境課、上下水道部							

6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進

評価者	清掃行政担当理事 小林 努		
令和5年度 実行宣言			
<p>家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、各施設にて適切な処理をしていきます。また、社会情勢やごみに対する市民ニーズの変化をとらえ、ごみの収集体制の強化や、不法投棄・ごみ持ち去り防止の監視体制の充実や啓発の推進等新規のサービスを実施していきます。加えて、ごみ減量・3R推進の啓発とともに、松阪市ゼロカーボンビジョンと連動し、家庭系ごみ削減の取組の強化と、食品ロス削減について事業所との連携体制の構築や、子ども向け教材の作成などを検討していきます。</p> <p>リサイクルセンターについては、敷地内の資源棟等で老朽化が進んでおり、施設のあり方に向けた検討をしていきます。新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得については、令和5年度末までに全ての用地を取得できるよう取り組みます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>家庭から出るごみを安全に処理するため、市民の皆様へ充電式小型家電等の出し方の周知啓発(資源物の日)により、クリーンセンターにおける火災検知件数は、88件と前年比34件の減少となり、不燃物等の適切な処理で施設の安全な維持管理が図られました。また、ごみを取り巻く社会情勢の変化(脱炭素化やSDGs等の取り組み等)や市民ニーズに対して、燃えるごみの祝日収集の追加等によるごみ収集体制の強化や、生ごみの堆肥化促進の新規事業を実施するなど、家庭系ごみの削減に取り組み、1人1日当たりのごみ排出量の目標値を達成しました。加えて市職員による不法投棄・ごみ集積所のパトロールにより、市民からの不法投棄や集積所からの持ち去りに対する苦情・相談件数が減少しました。食品ロス削減では食品事業所(市内7店舗)に、手前どり啓発ポップ700枚を掲出し、消費期限切れ等の廃棄食材の削減に努め、また児童向け啓発冊子で食品ロス削減に関する追記で児童への食の大切さを啓発教育し、松阪市ゼロカーボンビジョンやSDGs(持続可能な開発目標 12「つくる責任つかう責任」)等を意識した新たな取組を実施することができました。</p> <p>リサイクルセンターについては、長寿命化計画のなかで「更新」等をしていく方針で、維持管理費等のトータルコスト削減に向けた取り組みの一環として、令和6年度に三雲リサイクルセンターの一部施設を除却し、令和7年度には、松阪市リサイクルセンター敷地内の老朽施設の一部を除却する方針を立てました。</p> <p>新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得については、98.46%(119,980.61㎡)を購入させていただきましたが、令和5年度末までに、全ての整備計画用地の取得には至りませんでした。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<p>家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設にて適切な処理をしていきます。また、焼却施設に係る排出ガスや放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とする管理を行い、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みます。</p> <p>ごみ減量・3Rの推進では、ナッジを活用した新たな啓発事業や市民意識調査をもとに市民ニーズを検証した事業の研究等、また、市民の皆様との暮らしの中で、身近な脱炭素化の取組(食品ロス削減・ごみの堆肥化等)を実感していただけるような取組を検討していきます。</p> <p>リサイクルセンターについては、敷地内の老朽施設の除却等を年次的に計画していきます。</p> <p>新最終処分場の整備計画用地の取得は、令和6年度上半期までに全ての用地を取得できるように取り組みます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量				目標種別	↓
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	710 g	701 g	693 g	684 g	
	実績	719 g	734 g	718 g	702 g	680 g	
	評価	—	E	E	C	S	
今後の方針	家庭系ごみ削減のための新たな取組や食品ロス削減の啓発をしていきます。						
数値目標 ②	項目	廃棄物(ごみ)対策の整備に満足している人の割合				目標種別	↑
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	25.0 %	26.0 %	27.0 %	28.0 %	
	実績	22.7 %	— %	22.8 %	23.6 %	23.6 %	
	評価	—	—	E	E	E	
今後の方針	社会情勢や市民ニーズの変化をとらえ、サービス向上のための新たな施策を検討します。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	資源化率（総ごみ量のうち総資源化量の占める割合）				目標種別	↑
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	10.7 %	11.5 %	12.3 %	13.1 %	
	実績	10.7 %	10.5 %	10.1 %	9.9 %	9.9 %	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	ごみの分別や出し方のルールの徹底と、集団回収団体の維持・活性化に繋がる研究等をしていきます。						

関係所属
清掃事業課、清掃施設課、建設保全課

6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和5年度 実行宣言			
飯高管内の公共交通再編は地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和6年度運行開始ができるよう取り組みます。また、地域住民との対話などによりコミュニティ交通の適正利用を推進するとともに、路線バス運賃無料デーを実施しバスに乘車する機会を創出し利用促進に取り組みます。			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
・飯高管内の公共交通再編は地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和6年4月1日運行開始することができました。 ・路線バス運賃無料デーにおいては、前週比3.1倍の乗車人数と前年度以上の利用があり、バス利用機会の創出により一定の利用促進効果があったものと思われまます。 ・しかしながら「結節点数」「コミュニティ交通導入地域数」「年間利用回数」の数値目標はここ数年いずれも伸び悩んでいることから、これまでの取組を見直す必要があるものと思われまます。 ・想定していた事業は予定どおり実施でき、特に長年の懸案であった飯高管内の公共交通再編が実現できたことから星4つの評価としました。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
おでかけ交通の確保について、地域の要望を聞き取りニーズを把握し、新たにコミュニティ交通を導入したいと考えている地域には、その特性や実情にあった形態での導入を検討していきます。 また、バス利用者数の増加を図るために今年度の路線バス運賃無料デーの実施においては、コミュニティバス沿線にある商業施設や文化・観光施設等と連携し、利用促進の効果的な取組に努めます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	22 か所	23 か所	24 か所	25 か所	
	実績	21 か所	24 か所	24 か所	24 か所	24 か所	
	評価	—	S	S	S	B	
今後の方針	引き続き路線バスとコミュニティバスの結節点数を増やすことで、公共交通全体の利用促進をめざします						
数値目標 ②	項目	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	2 地域	2 地域	2 地域	3 地域	
	実績	1 地域	1 地域	1 地域	1 地域	1 地域	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	新たな地域で、地域の特性や実情に合った交通手段の確保として「おでかけ交通」導入をめざします						
数値目標 ③	項目	住民1人あたり公共交通機関年間利用回数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	8.00 回	8.00 回	8.00 回	8.00 回	
	実績	7.95 回	6.23 回	6.56 回	6.99 回	7.16 回	
	評価	—	E	E	E	E	
今後の方針	鈴の音バス停留所がある商業施設等と連携して、当該施設内で回数券の出張販売を行う等、バス利用者数の増加を図ります						

関係所属
商工政策課

6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備

評価者	建設部長 松本 尚久	
令和5年度 実行宣言		
<p>都市空間の整備は、公園整備において維持管理の時代を迎えるにあたり、管理者の異なる公園の一括管理について調整し、効率の良い管理をめざします。松阪駅西地区複合施設計画については、社会情勢に注視し再開の時期を探っていきます。</p> <p>住環境の整備は、新しい景観計画に基づき、重点地区の景観形成を図ります。また、空家対策においては、中心市街地の空家対策において一層の周知を行い、補助金の活用を促進します。市街化の見直しや既存集落の維持については、市民のニーズに沿った方法を検討し、市民満足度の向上に努めます。</p>		
↓		
令和5年度 評価	☆評価	☆☆
<p>都市空間の整備については、公園の管理について民間活力導入の検討なども進めたが、方向性を出すには至りませんでした。松阪駅西地区複合施設計画については、より具体的な提案をいただけるよう、事業用地の確定測量を行いました。</p> <p>住環境の整備については、不良空家に対する補助金の活用が16件あり、また、民法による管理人制度を活用し、1棟の解体を行いました。既存集落維持のための地区計画については、7月までに全住民自治協議会に対し説明会を行いました。反応は薄いものでした。住環境における市民満足度においては、目標値には届きませんでした。</p>		
↓		
令和6年度 実行宣言		
<p>都市空間の整備は、令和6年度より公園施設長寿命化計画に基づく公園整備をスタートさせます。また、管理者の異なる公園のあり方については、今年度、方針を決定していきます。松阪駅西地区複合施設計画についても、アンケートやヒアリングを行い、今年度、方針を決定していきます。</p> <p>住環境の整備は、空家対策において、不良空家の減少をめざし、補助金活用の一層の周知を行うとともに、ニーズに沿った新しい制度の検討を行います。市街化の見直しや土地利用の再定義においては、都市計画マスタープランの作成に併せ、松阪市の課題解決に向けた取組を行います。</p>		

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	住環境の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	3.20 /5	3.24 /5	3.27 /5	3.30 /5	
	実績	3.17 /5	— /5	3.17 /5	3.13 /5	3.21 /5	
	評価	—	—	E	E	D	
今後の方針	空家対策の充実を図るとともに、課題解決に向けた都市計画マスタープランの作成を行います。						
数値目標 ②	項目	公園・緑地の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	3.12 /5	3.15 /5	3.18 /5	3.20 /5	
	実績	3.10 /5	— /5	3.12 /5	3.05 /5	3.10 /5	
	評価	—	—	D	E	E	
今後の方針	公園施設長寿命化計画に基づいた施設整備を行っていきます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	「住めない空家(C判定)※」として判定された空家等数(累計) ※H30年実施 空家等実態調査における判定基準				目標種別	↓
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	平成30年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	720 件	700 件	680 件	660 件	
	実績	758 件	668 件	611 件	590 件	573 件	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	法改正による新たな制度の検討を行うとともに、相談会や補助金活用のPRを実施し、C判定空家の減少をめざします。					
数値目標 ④	項目	老朽化住宅からの住替え件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	50 戸	58 戸	70 戸	83 戸	
	実績	39 戸	58 戸	67 戸	72 戸	82 戸	
	評価	—	S	S	S	A	
	今後の方針	引き続き、入居者のニーズに沿った住み替え先の提案など、親身な交渉を行い、計画的な住み替えを進めます。					

関係所属	
土木課、住宅課、都市計画課、建築開発課	

6. 快適な生活 ⑤道路等の整備

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和5年度 実行宣言			
計画的な道路の整備と、狭あい道路など生活道路については、道路改良と支援制度の両面から整備を進めていきます。また、道路照明灯のLED化に取り組み、安全性を高め快適な道路環境を提供します。			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆	
道路の改良及び狭あい道路の整備については、一部、進捗が目標に達しない路線もありましたが、おおむね計画的な整備を実施することができました。道路照明灯のLED化についても、令和7年度の全灯改修に向け、計画的に実施できました。指標については、市民満足度において、ほぼ横ばいとなり、今後、指標の見直しについても検討をしていきます。			
↓			
令和6年度 実行宣言			
計画的な道路の整備と、歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。引き続き、道路照明灯のLED化に取り組み、安全性を高め快適な道路環境を提供します。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	指標	主要な認定市道のパトロールに基づいた路面補修率				目標種別	→
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	100%	100%	100%	100%	
	実績	—	100%	100%	100%	100%	
	評価	—	S	S	S	S	
今後の方針	引き続き直営の認定市道のパトロールにより迅速な路面補修に努めます。						
数値目標 ②	指標	道路の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	2.78 /5	2.82 /5	2.86 /5	2.90 /5	
	実績	2.74 /5	— /5	2.81 /5	2.77 /5	2.76 /5	
	評価	—	—	B	E	E	
今後の方針	重要性や緊急性、老朽度など総合的に判断し、道路環境の改善を図ります。						
数値目標 ③	指標名	橋りょう点検に基づき修繕を行う橋りょう数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	28 橋	48 橋	73 橋	98 橋	
	実績	10 橋	23 橋	49 橋	65 橋	94 橋	
	評価	—	B	S	B	A	
今後の方針	1巡回点検において、修繕が必要な橋梁の補修がほぼ完了しました。今後も定期的な点検を実施し、ライフサイクルコストの縮減をめざします。						

関係所属
建設総務課、土木課、建設保全課、建築開発課

6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備

評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志		
令和5年度 実行宣言			
<p>令和5年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。</p> <p>水道事業建設改良工事においても引き続き、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設を更新します。</p> <p>下水道整備においては、平成28年度に策定した「松阪市公共下水道事業経営戦略」の見直しを図り、その中で整備区域の検討、公共下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行っていきます。</p>			
↓			
令和5年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>水道事業については、経常収支比率(103.8%)、営業収支比率(98.2%)で営業損失が生じたが経常収支比率は100%以上を保てました。主な要因は給水人口の減に伴う給水収益の減であり、今後、詳細な検証を実施し対策を進めていく必要があります。</p> <p>また、基幹管路の耐震化については令和4年度末の耐震適合率38.5%を令和5年度末では1.2ポイント増の39.7%、900mの整備目標であった老朽管の更新については957mの整備し、目標値以上に進められました。</p> <p>下水道の整備においては、令和5年度末の公共下水道普及率は前年度比2.0ポイント増の63.1%となり、松阪市公共下水道事業経営戦略の見直しを行う中で、整備区域の検討、公共下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行いました。</p>			
↓			
令和6年度 実行宣言			
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。 県営水道料金改定においては、引下げに向け、しっかりと要求をしていきます。 水道事業建設改良工事においては引き続き、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新を進めます。 下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか、集中浄化槽を備えた団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていくとともに、経営戦略に基づいた整備区域の見直しに着手します。 			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	水源の水質事故件数				目標種別	→
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	0件	0件	0件	0件	
	実績	0件	0件	0件	0件	0件	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	引き続き、水源の水質事故件数0件に努めます。					
数値目標 ②	項目	基幹管路の耐震適合率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	37.5 %	37.9 %	38.1 %	38.2 %	
	実績	37.2 %	37.6 %	37.9 %	38.5 %	39.7 %	
	評価	—	S	S	S	S	
	今後の方針	引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	下水道普及率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	60.8 %	62.5 %	63.2 %	67.1 %	
	実績	58.2 %	59.1 %	60.4 %	61.1 %	63.1 %	
	評価	—	D	C	C	C	
今後の方針	松阪市公共下水道経営戦略に基づき、管渠整備を進めていきます。						
数値目標 ④	項目	水洗化率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標	—	79.5 %	80.1 %	80.7 %	81.1 %	
	実績	79.4 %	79.6 %	79.5 %	79.3 %	78.7 %	
	評価	—	S	E	E	E	
今後の方針	引き続き、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化率の向上に努めていきます。						

関係所属	
環境課、上下水道部	